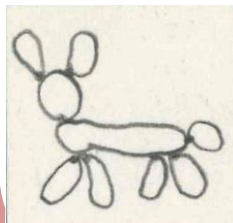


交流センターだより

おおとし



題名: バルーンアート
お名前: 高砂 美結さん

No.125
令和元年
8月号

発行 大歳地域交流センター TEL 922-4035 FAX 922-4036 人口 13,832 世帯数 6,695
開館時間 8時30分～17時15分 (行政窓口) TEL 922-2461 令和元年7月1日現在

分館対抗卓球大会の結果報告!

6月23日(日)大歳小学校体育館にて開催しました第42回分館対抗卓球大会の結果を報告します。

優勝 中矢原A分館
準優勝 岩富分館
3位 和田分館、中矢原B分館
B級優勝 今井下B分館



中矢原Aチームの皆さん、優勝おめでとうございます!

大歳小学校夜間照明施設工事のお知らせ

大歳小学校グラウンドの夜間照明施設が、老朽化に伴うLED化改修工事のため、下記の期間利用できなくなります。

御不便をおかけいたしますが、御理解のほどよろしくお願いいたします。

○工期: 令和元年7月22日

～令和元年10月31日

○工事時間:

- ・7月22日～8月31日まで
平日8:30～17:00
(※遅れが出た場合、休日工事あり)
- ・9月1日～10月31日まで
土日祝日8:30～17:00



※工事の進捗状況によっては、詳細が変更になる可能性があります。

太陽クラブからのお知らせ

暑い夏、ミニキャンプでカレーやカキ氷をみんなで食べましょう!

日時: 8月23日(金)

10時～13時

場所: 大歳地域交流センター調理室、和室

内容: プール、水風船遊び、カレー、カキ氷

参加費: 100円

※兄弟がいる場合は、何人居ても+100円。

持参物: カレー用のお皿、スプーン(カレー用、カキ氷用)、水着、タオル、レジャーシート、飲み物

定員: 未就園児とその兄弟 15組

申込み先: 080-5207-5059 (山根)

締め切り: 8月19日(月)



はつらつクラブ 大人の居場所からのお知らせ

～ビデオ鑑賞&クールシェア～

みんなで楽しく、笑いあり・感動ありのビデオ鑑賞会をしませんか?

貴男も貴女も、お誘いあわせの上、気軽に御参加ください。もちろん、お1人でも参加可能です。

日時: 8月17日(土)

13時30分～15時30分

場所: 大歳地域交流センター 2階 講堂

内容: ○ビデオ観賞(山口にまつわる特集)

○折り紙

参加費: 100円

問い合わせ: 大人の居場所 代表 大窪

(TEL 080-2904-8193)



スポーツチャレンジウィーク・オープニングイベントを実施します 10月6日(日)@山口県立大学南キャンパス

～スポーツチャレンジウィークとは～

体育の日前後の週を「スポーツチャレンジウィーク（10/6～10/14）」と設定し、この期間に開催するイベントなどを通じてスポーツに興味・関心を深め、スポーツ活動の習慣化に繋げるとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への機運醸成を図ることを目的とするもの。



①やまぐち逃走(かけり)中

幼児期から運動習慣の基盤づくりは大変重要です。このイベントを機に親子や友達などと一緒に体を動かしてみませんか？

開始時間	部門	対象	定員
10:00	幼児の部	3歳以上の未就学児	30人程度
10:00	低学年の部	小学1年生～3年生	50人程度
11:10	ペアの部	親子、祖父母と孫、夫婦	30組程度
12:20	高学年の部	小学4年生～6年生	50人程度
13:30	一般の部	中学生以上	50人程度

内容：限られたエリアの中で、ハンターから逃げ切る遊び。

全員に参加賞、各部門の上位入賞者にはレノファ山口 FC

選手のサイン入りサッカーボールなどの景品があります。



料金：500円

申込み：8月30日(金)までに

郵送、FAX、メールのいずれかで、
所定の申込用紙に必要事項を記入の上、
市スポーツ交流課まで申し込みを。



【スポーツ交流課】

TEL：083-934-2912

FAX：083-934-2665

Mail：sports@city.yamaguchi.lg.jp

②フキ☆健康ウォーキング大会

普段歩く習慣がない方や、ウォーキング初心者にお勧めです。

時間：10:00～12:00

内容：効果的な歩き方の話と、

宮野地区をウォーキング（約3km）します。

講師：健康運動指導士

定員：先着100人

料金：100円

申込み：8月30日(金)までに

電話、郵送、FAX、メールのいずれかで、
所定の申込用紙に必要事項を記入の上、
市健康増進課まで申込みをしてください。



【健康増進課】

TEL：083-921-2666

FAX：083-925-2214

Mail：kenko@city.yamaguchi.lg.jp

子育てマナビからのお知らせ

消防団操法大会の結果報告！

家族の絆を深める大冒険 ～新しい自分を目指して～

「とくさがみね森のチャレンジコース」に挑戦しよう！

日時：10月5日（土） 10時～15時

場所：十種ヶ峰青少年自然の家

持参物：動きやすい服装（長袖長ズボン）、
運動靴、帽子、水筒、弁当、
体育館シューズ（雨天時）

対象：小学生と、その保護者（15組）

申込締切：9月2日（月）

問い合わせ：市ウェブサイトの申込用メール
または、TEL083-934-2866 まで。

※参加は無料です。



7月7日（日）に開催された消防団操法大会
に大歳分団も参加しました。

奮闘した結果、33分団中5位でした。

来年はさらに上位を
めざして頑張ります！

【出場選手】

分団長	豊嶋	正典
指揮者	原田	光一郎
1番員	藤本	征巴
2番員	金子	泰啓
3番員	古西	剛士
補助員	坂本	真一



山口リハビリテーション病院&山口あかり園からのお知らせ

～第29回納涼ふれあい祭りを開催します！～

入所されている皆様、そして地域の皆様との交流を深め、夏の思い出ができるよう、今年も納涼ふれあい祭りを開催します！皆様のご来場をお待ちしています！！

開催日時：8月24日（土）18:00～20:30

※雨天の場合は、正午までに中止の判断をします。

場所：山口リハビリテーション病院玄関前広場

内容：○バザー 焼きそば、焼き鳥、フランクフルト

焼きイカ、からあげ、かき氷、今川焼き
ジュース（酒類の販売は致しません）など



○ゲーム お菓子すくい、スーパーボールすくい、ヨーヨーつりなど

○盆踊り（炭坑節、大内のお殿様等）○白河踊り

○ステージ企画（予定） 西京高校吹奏楽部、よさこいひらかわ組、タヒチアンダンス、
太鼓演奏、花火大会など



その他：シャトルバスの運行は廃止しました。また、敷地内禁煙に御協力お願いいたします。

（駐車場には限りがございますので公共の交通機関をご利用ください）

問い合わせ先：山口あかり園 担当 原田（TEL 083-921-1618）

山口リハビリテーション病院 大塚（TEL 083-921-1616）

【大歳地区8月の行事予定】

1日（木）燃やせないごみの日
3日（土）第33回おとし夏まつり（18:00～21:00）
5日（月）お花づくり（9:30～12:00）
7日（水）母子相談（10:00～11:00）
9日（金）ぶっくん来館日（15:20～16:00）
15日（木）金属・小型家電製品の日
16日（金）パソコン相談（10:00～12:00）
17日（土）大人の居場所（13:30～15:30）



19日（月）お花づくり（9:30～12:00）
21日（水）びん・缶の日
23日（金）子育てサークル太陽クラブ（10:00～13:00）
23日（金）ぶっくん来館日（15:20～16:00）
24日（土）第10回三世代グランドゴルフ大会（8:30～）
26日（月）お花づくり（9:30～12:00）
26日（月）古紙ペットボトル分別収集（大歳①）
29日（木）古紙ペットボトル分別収集（大歳②）

※木曜日はプラ容器包装分別収集



篠田レイ子さんと「群青」 その2 ～「群青」の主人公和田稔の生涯～

和田稔は 1922（大正 11）年愛媛県に生まれました。医師であった父の転勤で小学校は小倉、中学校は沼津で卒業し、1940（昭和 15）年、第一高等学校に合格して上京しました。

当時、最難関校と言われた一高に入学したことが良くも悪くも和田のプライドを形づくったと言われますが、バンカラな寮生活になじめず実家に逃げ帰ったこともありました。実家は裕福な知識階級ですから、おそらく大正デモクラシーのリベラルな雰囲気未だ漂っていたことでしょう。その中で、彼は心優しく文学好きな青年として成長していきました。

東京帝国大学法学部に入学して 2 年目に「法文科系統徴兵猶予停止」が決定され、1943（昭和 18）年 12 月 10 日、2 等水兵として広島の大竹海兵団に入隊した時から和田の海軍生活が始まります。中学校時代の配属将校の傲慢で威圧的な態度にへきえきして、陸軍を避け、海軍を選んだようです。

彼の転機は、一度は落ちた人間魚雷・回天への搭乗をあえて再度志願し、光基地に赴任したことに始まります。回天に乗ることは一度出撃すれば死ぬことを意味しています。彼自身が文系学生の徴兵延期が停止されたことに対して、もっと学生の能力を生かす道があるのではと不満を述べているのに、この志願はなぜでしょう。

光基地で彼の指導教官となったのは上山春平氏でした。後に京大教授として論壇でも活躍し、和田の日記「わだつみのこえ消えることなく」が出版されると、共に過ごした彼の最後の日々を事実のみを淡々と回想しています。同じ運命を背負いながら生死を別にした者として感慨など述べられないと思ったのでしょうか。

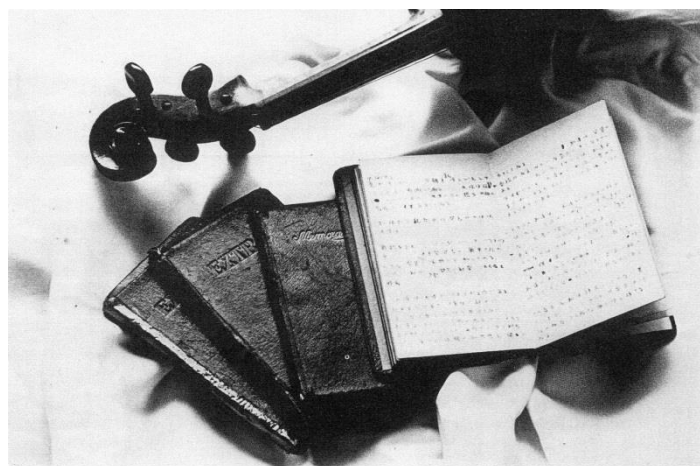
一度出撃が決まり、和田は帰郷しました。幼さを残す妹だけが久しぶりに帰ったお兄ちゃんとの再会を素直に喜ぶ姿が周りの涙を誘ったそうです。しかし、この出撃は悪天候などの条件が重なり、潜水艦から回天は発射されることなく帰投しました。再度の出撃が決まっていた訓練で彼が海中に沈んだまま最後を迎えたことは「群青」に描かれた通りです。

和田が青年期を迎える時代は軍国主義の台頭期でした。彼にとって軍国主義は慣れ親しんだ西洋の文化や芸術を排撃する文化破壊の時代と映ったはずで違和感を抱いたと思われます。しかし戦争がすすむにつれ、和田は冷静に敗北を見通したようですが、それとともに国家との一体化を目指す心情が強まります。こうした敗北の美学への傾斜ともいえるべき若者の模索と決断が戦争という時代の悲劇といえます。詩的な表現で示された暗示的で葛藤に満ちた心象風景が今も私たちを痛哭させるのです。

（大歳史談会、文責：武波義明）



東京大学法学部入学
当時の和田稔



大竹海兵団二等水兵当時の和田稔の日記